

日頃より保護者の皆様始め、地域の皆様には、本校教育活動全般におきまして、ご理解とご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。今年度の夏休みはコロナ禍状況下、感染拡大防止に気を遣いながらの生活を強いられ、どのような夏休みになりましたでしょうか。私自身も教職経験35年超になりますが、かつて経験したことのない夏休みの過ごし方となりました。(良いものとも悪いものとも言いがたいものでした)

さて、夏休み中、学校での様子です。1、2年生は中体連新人戦大会に向けての部活動練習、3年生は特設駅伝部の練習のほか、図書室で自主学習を熱心に行っている生徒もいました。また、各高校の体験入学等へも積極的に参加してきたようでした。

いよいよ本日より第2学期がスタートしました。2学期は1年のなかで一番長い学期でもあり、89日間(～12/25)あります。その間、大きな学校行事として、「宇津峰祭(10/24)」があります。例年よりは規模を縮小しますが、それでも本校最大級の学校行事であることには変わりはありません。すでに宇津峰祭実行委員を中心に活動はスタートしています。宇津峰祭の内容や公開のあり方等、今後ホームページや学校だより等でお知らせしていく予定です。例年ですとこの宇津峰祭で、保護者の皆さん、地域の方々にお世話になっていくところですが、それ以外のところで、ぜひ学校と家庭、地域が一体となって小塩江の子どもたちを育てていきたいと思っています。日頃、感じていることや思っていること、どんなことでも結構ですので、忌憚のないご意見をお願いいたします。

また、2学期は、3年生の進路の実現を考えたとき、学力向上を図るために最も大事な時期となります。本人の努力、一生懸命に取り組むことはもちろん大事です、ご家庭におかれましても、学習できる環境作りをよろしくお願いいたします。入試や学習に関するご質問、ご意見やご不明の点などございましたら、遠慮なく相談ください。ちなみに今年度は特別ですので、県立高校の入試の試験範囲が正式に発表されるなど例年になく対応が余儀なくされます。進路情報にはご注意ください。

最後に、新型コロナウイルス感染拡大は勢いが止まらない状況にあり、いつ当地区に迫ってくるかわからない状況でもあります。今後も油断せず、今まで同様に感染防止に努めていただければと思います。

今学期も小塩江中学校教職員一同、生徒たちのために頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※夏休み中には教職員も生徒も今までにない交流があったり、行動範囲が広がったりしていますので、当面の間(2週間程度)、改めて緊張感をもって生活していく所存です。



令和2年 8月19日 (2学期始業日)

須賀川市立小塩江中学校長 佐々間利則